

第4回宗像市地域公共交通会議会議録

日 時	平成26年3月10日(月) 15時00分～15時40分
場 所	宗像市役所北館2階 202会議室
出席者	【委員】 永尾英信、牛嶋賢一、大枝良直、福澤好展、 森 正彦、片山忠和、花田俊六、権田要助、前田 誠、 大嶋長治、早川正史、貫 一字 原田勝子、平田恵美、峯 久子 【事務局】 大隈課長、高山係長、松山、小島
報 告	1) 時刻表の紹介 2) 利用促進策について
その他	今後のスケジュール等について

1 会長あいさつ

ご出席いただきありがとうございます。今年度最後の会議となります。今年度は4月のダイヤの見直しが順調な利用促進につながっているのではないかと考えています。今回の会議は主に確認事項になっていますが、ご審議いただきまして、次年度につなげていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

2 前回会議録の確認

意見なし

3 報告

1) 時刻表の紹介

(事務局)

お手元の冊子をご覧ください。今回の時刻表は冊子になっております。文字も大きくなっています。表紙でふれあいバス、コミュニティバスの説明を載せています。めくっていただいて、ふれあいバスの時刻表。5～6ページは4月1日から追加になる赤間地区の時刻表です。7～8ページ、ここから多少変更しております。以前は1ページの中に複数の地区の時刻表を載せていましたが、今回は地区毎に掲載するよう配慮しています。神湊地区については渡船との接続があるので渡船の時刻表と同じページに掲載しています。13ページは料金等の案内、14ページには乗継等を記載できるものを載せています。最後のページは問合せ先を載せています。以前の時刻表に比べ大きく表示しています。JRや西鉄バスへの接続を考え、それぞれの問合せ先を掲載しています。

携帯版の時刻表について、手続きが遅れておりまだできていませんが、今後作成していきます。携帯版についても以前よりも大きなサイズ、パスポートのサイズで作成しようと思っています。

路線等について今回変更した内容は3月15日号の広報誌に掲載します。A4の資料をご覧ください。ゆめタウンのバス停移設、ケアハウス宗像前のバス停廃止、久原バス停の新設、田島地区のバス停の移設、赤間地区のコミバス運行開始、神湊地区コミバスの時刻の変更について掲載します。時刻表についても3月15日号と一っしょに配布します。

(貫委員)

QRコードの掲載がありますが、どの範囲が表示されますか？

(事務局)

ふれあいバスの横に掲載しているQRコードはふれあいバスの時刻表のページにつながります。

(平田委員)

サンリブ運行状況のQRコードがありますが、これはサンリブだけですか？

(事務局)

ふれあいバスについては西鉄バスに運行いただいているのでバスナビが利用でき、各バス停毎に利用できます。サンリブが乗継の拠点になるため、サンリブのバスナビのQRコードを掲載しています。

(早川委員)

時刻表は全戸配布ですか？

(事務局)

全戸配布です。あとはコミュニティセンター等に設置します。

(早川委員)

バスについてまだ知らないという方もいらっしゃるので、周知になると思う。

(平田委員)

前回は全戸配布しているが、必要ない人はすぐに捨てています。なんとか食い止めたいと思うが。

(嘉村代理)

他の市町村でも作られているが、字も大きく、1ページ毎に切って使えるというのはいい案だと思う。携帯版も同時に作られているので非常にいいと思います。

2) 利用促進策について

(事務局)

利用促進策について報告します。カラーの「バスに乗って買物に行こう」チラシをご覧ください。前回会議でも説明させていただきましたが、改めてご紹介します。2本立てのキャンペーンです。まずは「バスに乗って買物に行こうキャンペーン」。こちらはふれあいバスの路線沿いの主要な商業施設と連携したキャンペーンです。今年度はサンリブ、ゆめタウン、西鉄ストアと共同で行っています。内容は2月23日から3月8日までの2週間、この期間にバスに乗って対象施設へ行き、買物さ

れた方へサービスを行います。5日分のスタンプが貯まったら、各事業者でサービスを行っていただきます。引き換え日が今月末までですので、利用者数についてはまた報告させていただきます。

次に「バスに乗ってみよう！無料乗車キャンペーン」。こちらはできるだけ多くの方、今までバスの乗っていない方に乗っていただきたいということでキャンペーンを行っています。2月23日の第4日曜日に実施しています。無料乗車キャンペーンの実績についてはお手元の資料をご覧ください。それぞれ系統毎の利用者数と比較のために2月の第2日曜日の利用者数を載せています。比較すると2倍以上の方に利用いただいております、普段利用されない方にも利用いただき、一定程度の効果はあったのではと思っております。これを受け、来年度以降も利用促進を図っていきたいと考えています。

(平田委員)

数字が伸びているのはすごくいいことだと思います。定期的にできたらいいが、赤字が膨らむ。1年に1回程度でいいので継続を検討いただきたい。

(永尾会長)

他はよろしいでしょうか？

それでは4番その他、今後のスケジュールについて説明をお願いします。

(事務局)

資料をご覧ください。来年度は2年に1度の路線、時刻等の見直しの時期です。

いただいた地域の意見を受けて、ふれあいバスの路線等を検討してまいります。その他アンケート調査、利用促進策、料金改定についてご審議いただく予定です。

(平田委員)

コミュニティバスも見直しの時期だと思うが、事務局長会議にはどのタイミングで情報提供するのか。

(事務局)

以前より2年に1度の改定のお話しはさせていただいており、今年度は10月と1月に各コミュニティバスの利用者数を報告させていただいた際に、来年10月までに案をまとめていただくようお願いしています。また、4月のコミュニティの役員さんが変わられる際にお伝えさせていただきます。

(前田委員)

東郷地区でコミュニティバスを運行するという話を聞いているが。

(事務局)

東郷地区は柵丸地区でそういう話が出ています。以前から話があります。ただ、柵丸地区には西鉄バスが運行しており、そのバス停から集落は数百メートルしか離れていないので、今のところは交通空白地域ではないと考えています。あとは三倉や平井から狭い道にコミバスをなんとかという話がありますが、バス停からの距離等から現状では導入は難しいと考えています。ご存じのとおり1台入れると一

千万円かかります。その辺もありますので地域住民の方にご辛抱いただいている状況です。あと用山の奥に特養むなかたという施設があり、そちらからもバスを延伸してくれないかという相談があっており、来年度の見直しの中で先ほどの東郷の件も含めて、皆様方にはご協議いただくことになると思っています。

(永尾会長)

最後になりますが、その他何かございませんか？

(嘉村代理)

1点だけ確認ですが、会議録についてはホームページに掲載される予定ですか？
毎回掲載していますか？

(事務局)

掲載する予定です。毎回掲載しています。

(永尾会長)

来年度は時刻表、路線の見直し、アンケート調査、利用促進をご協議いただく。また消費税10%の際に料金をどうするかという問題。毎年テーマを見つけながら、多様なご意見をいただいて、よりよいものを作っていきたいと思っています。それ以外になにかこれはやった方がいいのではないかというものがあれば、ご提案いただければと思います。

(権田委員)

よく頑張っていると思う。

(永尾会長)

また会議の中で新たな課題が出ましたら、皆さまのお知恵をお借りしたいと思います。

それでは最後の会議ですので、恒例になっていますが、それぞれコメントをいただければと思っています。年間を通した地域公共交通会議、地域の公共交通の在り方、なんでも結構でございます。

(森委員)

コミュニティバスに携わっているタクシー事業者として、本当にいつもお世話になっております。ありがとうございます。これからも皆様に愛されるコミュニティバスにしたいと思いますので、この会議のなかでも結構ですし、各事業者でも結構です、意見をいただければ幸いです、長く続けたいと思いますので、皆様のご協力お願いいたします。

(片山委員)

南郷の片山です。この会議で初めてふれあいバス、コミュニティバスの区別がつかれました。いままで不勉強でございました。そういったことも含めていろいろありがとうございました。

(権田委員)

岬地区池野地区、玄海地区。願わくは一地区に一台。現在隔日運行ですので。

(大嶋委員)

自由ヶ丘の大嶋です。自由ヶ丘の皆さんはあっちに行きたい、こっちに行きたいという要望が多く、これからもきっと悩むと思う。行きたいところに行けば時間がかかります。自由ヶ丘は不便だと思うが、しょうがないのかなと思っています。

(貫委員)

タクシー乗務員の代表として参加しています。いつも乗務している際に、ふれあいバス、コミュニティバスが非常に目に入ります。安全運転されていることをうれしく思っています。高齢者が増えている町なので、やさしい運転をしていただければと思っています。また安全運転等気づいたことがあれば声を聞かせていただければと思っています。

(平田委員)

私も勉強させていただきながら、いろいろなところから情報収集しながら参加させていただいています。今後もよくなるように、つたない意見ですが取り入れていただければと思っています。

(峯委員)

とりあえず感謝だけです。運転手の方にも親切にさせていただいていますし、乗継もサンリブまでいけばなんとかなるというのが助かっている。今後ともよろしくお願いします。

(早川委員)

池野コミュニティの早川です。せつかくのこういったシステムなので、多くの活用がなされるようにと参加しています。今後ともよろしく願いいたします。

(前田委員)

赤間の前田でございます。この一年間私どもは試験運行を試行錯誤しながら、行政にもご指導いただきながら無事に終えることができました。本当に感謝申し上げます。おかげで利用者も毎月600人を超える方にご利用いただいて、本当に助かったという声を多くいただいています。今後も無理なご注文することもあるかと思いますが、しっかり頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(花田委員)

日の里の花田でございます。日の里地区では12月末現在で後期高齢者が約36%。元気な方が大部分だと思いますが、これから利用者が増えてくるのではと思っています。1台増やせば何千万という話もありましたが、できるだけ利用者を増やして赤字がでないような方向に進んでいけたらと思っています。

(福澤委員)

西鉄バス宗像の福澤です。日頃よりバスをご利用いただきありがとうございます。昨年7月にきまして、こんなに活発にコミュニティのことを考えてあるっていうのはなかなかないのではないかなと思っています。バス自体はなかなか小回りがききません。新しく路線はつくれない。撤退するのも難しい。判断するのに1年間くら

いかかります。そういったなかでこういうバスファンを作る。新たに乘っていただく試みをされるというのは、大変ありがたいことだと思っています。全面協力していきますので今後ともよろしくお願いします。

(嘉村代理)

福岡運輸支局の嘉村でございます。県内自治体 60 くらいあるのですが、その中でかなりの自治体にお邪魔して、こういう地域公共交通会議ですとか、あるいは福祉有償運送など、かなりの数の会議に出席させていただいています。その中で先ほど西鉄バス宗像の社長も言われましたように、みなさん積極的に前向きな意見を言われ、いい会議だなという印象です。交通というのはそれを維持確保するというネガティブな成果だけが求められているのではなく、住民の日常生活に必要なものですから、まちづくりに非常に関連しているというふうに思っています。そういうことで取り組み方次第では、交通で地域を発展させるとか先導していくとか、ある意味では地域の将来を決定してしまうというほどの役割を果たすことができるのではないかと考えています。そういう意味では、こういう活発な会議を持っていますので、非常に期待しています。来年度もよろしくお願ひしたいと思ひます。

(永尾会長)

最後にまとめて大枝副会長お願ひいたします。

(大枝副会長)

まとめということではないのですが、私九州大学の工学部に所属して、専門は交通工学をやっております。交通工学が転じて交通計画もやっているということでございます。地元が宗像で、今も両親が宗像に住んでいるというご縁で 13 年前くらいから、このコミュニティバスにかかわるようになりました。当時からみると随分うまくいくようになったなという感想を持っています。最初 13 年前に初めてこの委員を受けた時、バスをどういじってもうまくいかないだろうという頭がありました。というのも皆様もよくご存じのとおり、非常に自動車が強い。みなさん自家用車にすぐ乗ってしまうというのがあるので、バスをどうしてもうまくいかないだろうと当時は思っていました。ただ、その時の委員のお一人の循環バスを作ってはどうかという意見から、結果乗車数が倍増しました。それは私にとって大きな驚きでした。うまくやればこういうコミュニティバスでも、うまくいくのだなということを初めて知ることができました。今回もコミュニティバスを宣伝するような時刻表ですとか、いろいろ工夫をされています。そういうことによってどんどん良くなっていくのだなということがわかる気がしています。私にとってもいい勉強になったと思ひます。これもひとえに皆様方で作っていただくことができたからだと思ひます。本当にいい勉強になりました。ありがとうございました。

(永尾会長)

それでは 25 年度の会議参加いただきありがとうございました。26 年度もいろん

な課題がございますので活発にご意見していただき、宗像の公共交通をよりよいものを作っていきたいと思っております。ありがとうございました。